

新型コロナウイルス感染症が流行している大都市部では、すでに「医療崩壊」の危機が叫ばれています。中津市民病院も、市内の医療提供体制がひっ迫することは避けられないと考え、すでに市内の病院・診療所との連携を強化して備えています。

「医療崩壊」が起こる原因は二つあります。一つは急激な感染拡大が起きて医療施設が対応できなくなること。もう一つは、なんらかの理由で十分な医療を提供できなくなることです。

そこで二つのお願いがあります。まず急激な感染拡大を防ぐ行動を徹底してください。つまり、不要不急な外出を控えるとともに、① 密閉空間、② 密集場所、③ 密接場面の三条件が重なる場所、いわゆる「三密」を避けてください。

もう一つは、私たちが医療を十分かつ確実に提供するため、みなさまのご支援をお願いします。中津市内の全ての医師・看護師は、自分が感染するかもしれない、患者に感染させてはいけないと厳格な感染防御策を行っています。

その緊迫した医療の現場で治療を行っている医療スタッフなどが安心して働けるようにご支援をお願い致します。

残念なことに、新型コロナウイルス感染症の診療を行ったと

いう理由で、その医療施設に対する誹謗中傷や職員に対する差別偏見が全国各地で発生しております。

このようなことが中津市内でも起これば、たちまち「医療崩壊」が起きて、新型コロナウイルスに感染をした人に対する治療ができなくなります。

私たちが向き合っていかなければならないのは、人ではなくてウイルスです。全ての人が、お互いに支え合ってこの困難に向かい合っていきましょう。どうかよろしく願い申し上げます。

中津市民病院 事業管理者 横田 昌樹